

## 会社概要

(2012年9月30日現在)

■会社名	株式会社マーベラスAQL	■役員	取締役会長	中山 晴喜
■証券コード	7844		代表取締役社長	許田 周一
■設立	1997年6月25日		取締役副社長	青木 利則
■資本金	1,128百万円		取締役	松本 慶明
■本社所在地	東京都品川区東品川4丁目12番8号 品川シーサイドイーストタワー5階		取締役	山角 信行
■事業内容	オンラインゲームの企画・開発・制作・販売 家庭用ゲームソフトの企画・開発・制作・販売 音楽・映像コンテンツの企画・制作・販売 劇場演芸の興行		取締役(社外)	中村 俊一
■従業員数	395名(連結)	■グループ会社	取締役(社外)	藤原 洋
			常勤監査役(社外)	辻 勇
			監査役(社外)	西 巖
			監査役(社外)	西村 勝彦
			株式会社デルファイサウンド	
			XSEED JKS Inc.	
			MAQL Europe Limited	
			株式会社アートランド	
			株式会社リンクシンク	

## ホームページのご案内

マーベラスAQLグループでは、ホームページにて即時情報開示に努めております。

メール配信をご登録された皆様には、ニュースリリースなどの新着情報をメール配信させていただいております。当社ホームページ「IR情報」内の「メール配信」にてご登録いただけます。また、当社をよりよくご理解いただくために、「個人投資家の皆様へ」のページを新設いたしましたので、是非、ご活用ください。

<http://www.maql.co.jp/>



コーポレートサイト



IRサイト(個人投資家の皆様へ)

## 株式会社マーベラスAQL

〒140-0002 東京都品川区東品川4丁目12番8号

品川シーサイドイーストタワー5階

URL : <http://www.maql.co.jp/>



Consumer Game Business

Online Game Business

# Business Report

Audio & Visual Business



MarvelousAQL

## 株式会社マーベラスAQL

2013年3月期(第16期 第2四半期)事業報告書

2012年4月1日~2012年9月30日

# マーベラスAQLは、 東証第一部に 上場いたしました。

エンターテインメントで、驚きと感動の未来を切り開く。



株式会社マーベラスAQLは、世界を夢で輝かせる総合エンターテインメント企業へ。

笑うこと、驚くこと、感動すること、涙すること、  
ドキドキすること、キュンとすること。

私たちは、ゲームや音楽、映像、舞台など、あらゆるエンターテインメントの領域で、  
心を揺さぶるコンテンツを発信しつづけます。

## 経営理念

### 「驚き」と「感動」を世界に届ける 新しいエンターテインメントの創造

私たちは、あらゆる娯楽の要素を融合させた  
新しいエンターテインメントの創造により、  
世界の人々に「驚き」と「感動」を届ける企業として、  
誰もが夢見る楽しい未来の創造に貢献します。

## Mission

**Excite Our Customers.  
Create Our Future.**

## Vision

**世界を驚愕させる  
コンテンツプロバイダーになる**

## Contents

- 02 トップメッセージ
- 03 **特集**  
これまでの軌跡と今後の戦略
- 05 事業別の業績と今後の展開
- 07 当第2四半期(累計)の業績
- 09 マーベラスひろば
- 10 株式の状況
  - 大株主の状況
  - 所有者別株式分布状況
  - 株主メモ



代表取締役社長  
許田 周一

取締役会長  
中山 晴喜

Top Message  
トップメッセージ

## グローバルコンテンツプロバイダーに向けた 新たなステージへ

2012年11月1日、当社は東京証券取引所市場第一部に  
上場いたしました。これもひとえに株主の皆様、関係各位の皆  
様のご支援、ご高配の賜物と心より御礼申し上げます。

これまで当社は、エンターテインメント事業を通じて、常に時  
代やお客さまのニーズに合ったコンテンツやサービスの提供  
に努めてまいりました。今回の上場を機に、総合エンターテイ  
メント企業としての新たなステージに向け、成長戦略の実行を  
より着実なものにしたいと考えております。

当社の属するエンターテインメント業界は、ソーシャルゲーム  
の市場規模が依然急成長を続けています。家庭用ゲーム市場  
も6年ぶりにプラスに転じたほか、音楽・映像分野では、シン  
グルCD市場の活況やブルーレイ市場の継続成長等、市場環  
境が厳しい中にも明るい兆しが見えてきています。このよう  
な中、当社の当第2四半期累計期間におきましては、合併による  
オンライン事業の拡大や、キッズアミューズメントの新型マシン  
「ポケモンレッタ」の稼働開始等により、売上高は7,904  
百万円となりました。また、売上高増加に伴う利益増と業務効  
率化により、利益面についても大きく改善し、営業利益1,105  
百万円、経常利益1,021百万円、四半期純利益645百万円  
となりました。

引き続き、当社の強みである「マルチコンテンツ・マルチユー  
ス・マルチデバイス」戦略を基軸とし、収益の多様化・長期化  
が期待できる高収益体質のビジネスを国内、そして海外に向  
けて推進し、世界を驚愕させるエンターテインメントコンテン  
ツプロバイダーへと成長してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご支  
援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2012年12月 吉日

# これまでの軌跡と今後の戦略

## History & Future

### 株式会社マーベラスエンターテイメント

- 1997年  
株式会社マーベラスエンターテイメント設立  
ゲーム音楽のCD商品を発売、音楽事業開始
- 1998年  
映像事業を開始  
テレビアニメーション作品のビデオ商品発売開始
- 1999年  
業務用ゲームソフト発売、ゲームソフト事業開始  
家庭用ゲームソフト発売開始
- 2002年  
ジャスダック市場に株式を上場
- 2005年  
東証第二部に株式を上場

### 株式会社AQインタラクティブ

- 2000年  
株式会社キャビア設立
- 2005年  
株式会社AQインタラクティブに商号変更
- 2007年  
ジャスダック市場に株式を上場
- 2008年  
東証第二部に株式を上場

### 2011年10月 3社の合併により 株式会社マーベラスAQL 誕生

- 2005年  
株式会社ライブウェアに商号変更
- 2004年  
株式会社マーベラスライブウェア設立

### 株式会社ライブウェア

MarvelousAQL



### 2012年11月 東証第一部に上場

「強力なIPの創出・育成」と  
「総合エンターテインメント企業」の強みを活かした  
戦略を強化・拡大・スピードUPし、  
事業拡大と収益性の向上を目指します。

# Next Stage

ユーザーベースを拡大し、  
世界を驚愕させるコンテンツプロバイダーへ

「ユーザーベース」を  
活用した新たな展開

「ユーザーベース」  
(コンテンツユーザー)  
1,000万人へ

強化

■グローバル戦略  
スマートフォン等の普及とともに  
さらに拡大が見込まれる海外市場  
への取り組みを強化

自社コンテンツの収益最大化、海外コン  
テンツの獲得・販売強化など  
日本・北米・欧州・アジアにおける  
オンライン・コンシューマタイトルの  
多角的展開を推進

2012年4月、英国において  
MAQL Europe Limitedを設立

- 重点  
ポイント
- 当社コンテンツの  
世界への供給
  - 日本・北米・欧州、  
各拠点の機能強化

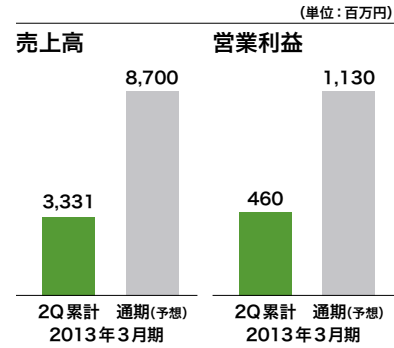
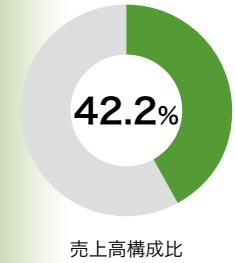
### ■コンテンツ戦略

新規IPの創出・既存IPの強化×  
オリジナル企画・アライアンス戦略の推進



オンライン事業

多彩なプラットフォームに向け、オリジナルIPや他社有力IPを活用したゲームを開発



- 【当第2四半期(累計)の実績】**
- スーパークリエイターズシリーズ3タイトルを含む6タイトルを新規リリース
  - 新規アライアンス戦略としてオンラインパチンコ・パチスロホール「マルハンドリームネット」をサービス開始
  - 既存タイトル「ブラウザ三国志」、「ブラウザプロ野球」、「剣と魔法のログレス」、「ブラウザ三国志モバイル」のほか、新作では「一騎当千バーストファイト」が好調に推移
  - 一部不採算タイトルのサービス中止を決定したほか、開発中の一部タイトルの中止費用及び海外向けタイトルの投資損失を計上

今後の展開

- 完全オリジナル新作「GTマスター」をリリース  
500車種 / 1,500種類の実写カードをラインナップした最高峰のレーシングカードバトルゲーム
- 当社IPである「閃乱カグラ」シリーズ初のソーシャルゲーム「閃乱カグラ NewWave」をリリース予定
- この他、引き続きIPのマルチユース・アライアンス戦略を軸とした複数の新規タイトルをリリース予定

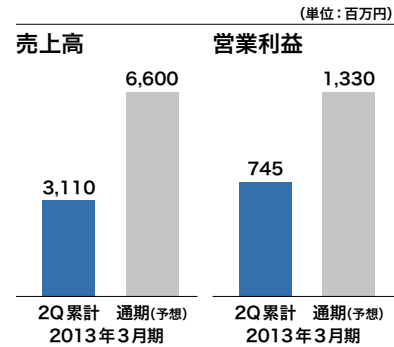
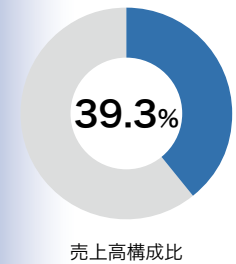
©MarvelousAQL Inc. ©MarvelousAQL Inc. (社)日本野球機構承認 NPB BIS プロ野球公式記録使用  
©MarvelousAQL Inc. Aiming Inc. ©2011 塩崎雄二・フニブックス/一騎当千集録士血風録バートナース  
©MarvelousAQL Inc.

主なタイトル



コンシューマ事業

家庭用ゲーム機向けゲームソフト、アミューズメント施設向けゲーム機の企画・開発・制作・販売



- 【当第2四半期(累計)の実績】**
- ニンテンドー3DS向けに発売した2タイトルが前作実績を大きく上回るヒットを記録  
・「ルーンファクトリー4」(上期15.2万本出荷)  
・「閃乱カグラ Burst-紅蓮の少女達-」(上期10.3万本出荷)
  - 「ポケモン」アミューズメントマシンの新シリーズ「ポケモントレッタ」がサービス開始  
全国に3,000台設置のマシンが好評稼働中

今後の展開

- PS Vita向けに3タイトル、PSP向けに2タイトルをリリース予定  
・「ヴァルハラナイツ3」(PS Vita)  
・「フェイト/エクストラ CCC」(PSP)  
・「閃乱カグラ SHINOVI VERSUS -少女達の証明-」(PS Vita)  
・「英国探偵ミステリア」(PSP)  
・「朧村正」(PS Vita)
- 「ポケモントレッタ」の販促強化  
新弾の第3弾・第4弾を随時投入予定

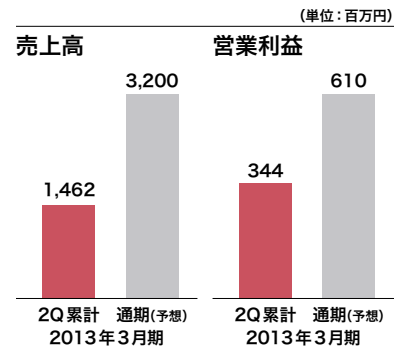
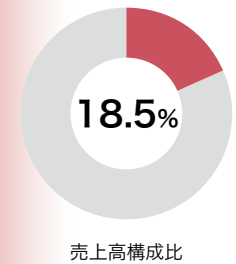
©2012 MarvelousAQL Inc.  
©2012 Pokémon.  
©1995-2012 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. Developed by T-ARTS and MAQL

主なタイトル



音楽映像事業

音楽・映像等多様なコンテンツの企画・プロデュース・制作・販売、及び、舞台・ミュージカルの企画・制作・興行



- 【当第2四半期(累計)の実績】**
- 7月1日より新作TVアニメ「人類は衰退しました」の放送を開始
  - 「プリキュア」は新TVシリーズ等の音楽・映像商品化を行い、過去シリーズと合わせて受注好調
  - 「ミュージカル『テニスの王子様』」は新規イベント、最新公演、DVD販売いずれも好調
  - 人気ゲーム原作の「ミュージカル『薄桜鬼』斎藤 一篇」を開催し、観客動員・DVD販売ともに順調に推移

今後の展開

- 「プリキュア」は10月27日公開の新作映画が劇場版13作目で初めて興行成績1位となる好調なスタート
- 「ミュージカル『テニスの王子様』」も引き続き順調に進捗  
10月に出演キャストの卒業イベントを行い満員の観客動員  
年末から新たに51公演開催(実績計上は来期)
- 前期に初めて公演を行った舞台の第2弾を続々公演  
・「VISUALIVE『ベルソナ4』the EVOLUTION」  
・「舞台『弱虫ペダル』箱根学園篇〜眠れる直線鬼〜」

©ABC・東映アニメーション  
©許斐 剛/集英社・NAS・新テニスの王子様プロジェクト ©許斐 剛/集英社・テニミュ製作委員会  
©2012 田中ロミオ、小学館/妖精社 ©Index Corporation/マーベラスAQL・イープラス

主なタイトル



当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPを中核としたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高

いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。  
当第2四半期連結累計期間(2012年4月1日～2012年9月30日)における当社グループの連結業績は、売上高7,904百万円、営業利益1,105百万円、経常利益1,021百万円、四半期純利益645百万円となりました。

四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表(単位:百万円)

区分	期別 2012年3月31日現在	前期 2012年3月31日現在	当第2四半期 2012年9月30日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	11,932	11,932	10,986
固定資産	1,734	1,734	2,499
有形固定資産	332	332	730
無形固定資産	733	733	1,152
投資その他の資産	668	668	616
資産合計	13,667	13,667	13,485
<b>負債の部</b>			
流動負債	4,361	4,361	3,956
固定負債	202	202	104
負債合計	4,564	4,564	4,061
<b>純資産の部</b>			
株主資本	9,105	9,105	9,426
資本金	1,128	1,128	1,128
資本剰余金	6,373	6,373	6,373
利益剰余金	1,630	1,630	1,952
自己株式	△27	△27	△27
その他の包括利益累計額	△2	△2	△2
純資産合計	9,102	9,102	9,424
負債純資産合計	13,667	13,667	13,485

四半期連結損益計算書(単位:百万円)

区分	期別 2012年9月30日まで	前期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	当第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
売上高	2,812	2,812	7,904
売上総利益	755	755	3,802
営業利益	30	30	1,105
経常利益	13	13	1,021
税金等調整前四半期純利益	9	9	1,021
四半期純利益	7	7	645

※前第2四半期連結累計期間の数値につきましては、旧(株)マーベラスエンターテインメント単独の実績となります。

POINT

■売上高

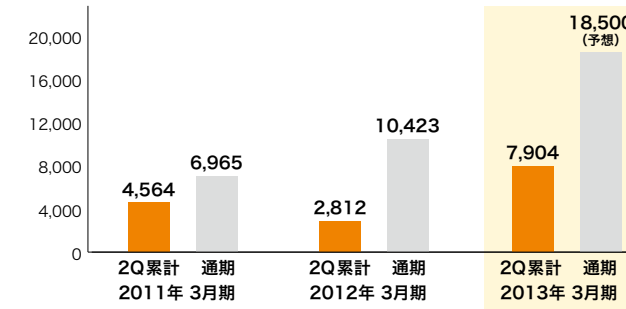
合併によるオンライン事業の拡大や、キッズアミューズメントの新型マシン「ポケモンレッタ」の稼働開始等により、大幅増収となりました。

■純資産

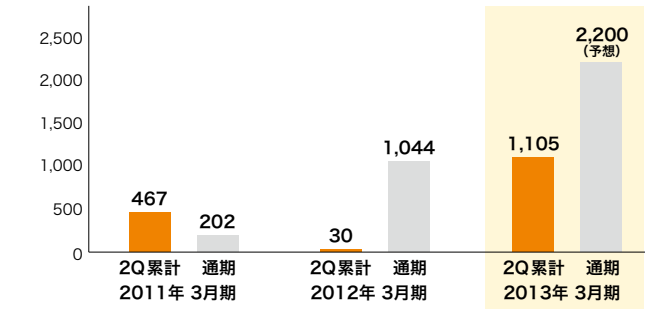
四半期純利益の累積が前期末の配当による剰余金の減少を上回った結果9,424百万円となり、前期末に比べ321百万円増加いたしました(自己資本比率69.9%)。

(単位:百万円)

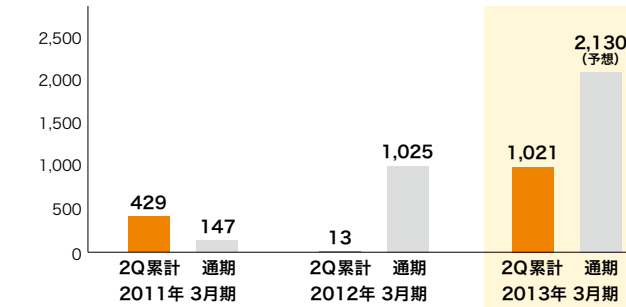
売上高



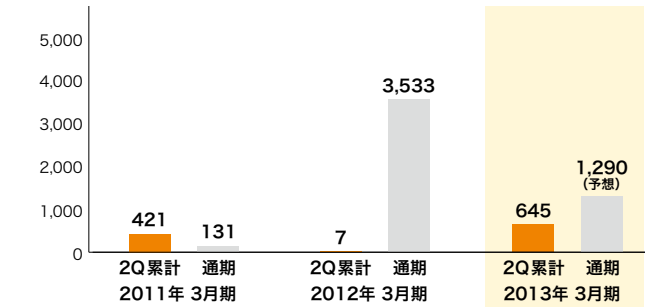
営業利益



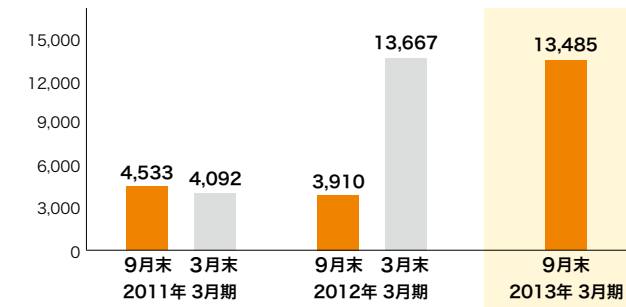
経常利益



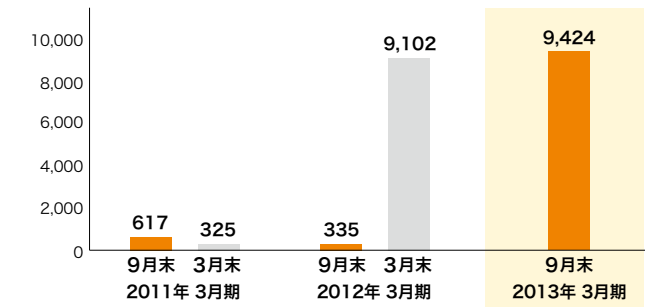
四半期純利益/当期純利益



総資産



純資産



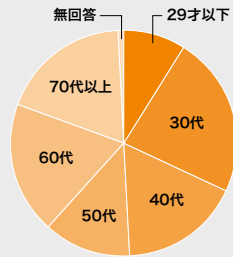
※2012年3月期第2四半期以前の数値につきましては、旧(株)マーベラスエンターテインメント単独の実績となります。



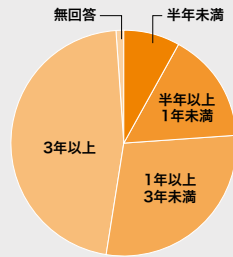
## アンケート結果報告

前回の「Business Report」において、アンケートを実施させていただきましたところ、7.26%にあたる合計641名の株主様よりご回答をいただきました。貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動及び「Business Report」作成の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

### 年齢層



### 当社株式の保有期間



### Q 当社の社名をどこでお知りになりましたか？



### Q 「Business Report」において、特に興味を持たれた内容は何ですか？



## 株主の皆様からのご質問にお答えします。

### Q 株主還元について教えてください。

A 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つと位置付け、将来の事業拡大と財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向30%を目標に、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

今期においてもこの方針を継続し、年間配当金につきましては、1株当たり1,000円を予定しております。これからも株主の皆様のご期待にお応えしてまいりたいと考えております。

### Q 2011年10月に行った合併の効果を教えてください。

A おかげさまで、当第2四半期累計期間におきましては、合併前の各社単純合算の数値に比べ、売上高、営業利益ともに大きく増加いたしました。これも合併時に、それぞれの強みとして持ち寄ったコンテンツの企画力・開発力の融合が軌道に乗り、業務効率向上等の成果が現れてきた証しであると考えております。

また、2012年11月1日には、合併から約一年で東証一部への上場を果たすことができました。今後も引き続き、合併によるシナジー効果を発揮し、総合エンターテインメント企業として事業拡大と企業価値向上に努めてまいります。

### 株式の状況(2012年9月30日現在)

発行済株式の総数	535,931株
株主総数	8,431名

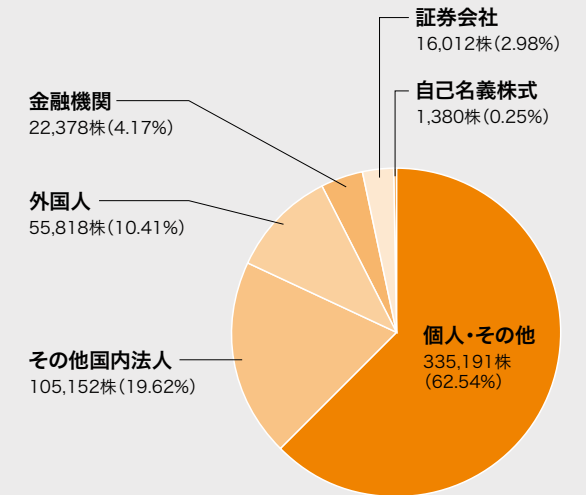
### 大株主の状況

中山 隼雄	18.32%
株式会社アミューズキャピタル	12.50%
中山 晴喜	10.22%
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ピーピー ノントリティー クライアンツ 613	3.73%
石井 洋児	3.52%
株式会社アミューズキャピタルインベストメント	3.43%
みずほ信託銀行株式会社 有価証券管理信託0700018	1.76%
ノムラピーピーノミニーズ ティーケーワンリミテッド	1.74%
日本証券金融株式会社	1.54%
株式会社東北新社	1.45%

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	3月31日 (そのほか必要がある場合は 予め公告いたします)
期末配当金受領 株主確定日	3月31日 (なお、中間配当を実施する場合 の株主確定日は9月30日)
公告方式	電子公告により行います。 URL : <a href="http://www.maq1.co.jp/">http://www.maq1.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない 事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載 する方法により行います。

### 所有者別株式分布状況



株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 受付時間	0120-288-324(フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00～17:00
ホームページ URL	<a href="http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou">http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou</a>